

新聞に親しむ工夫 多彩

▼実践

NIE宮城の小中高7校活動報告

コラム

力試し

7日に仙台市で開かれたNIE実践指定校の発表会では、宮城県内の小中高7校がNIE活動の取り組みを報告した。教育関係者ら約70人が、各校の新聞を活用した特色ある教育実践に耳を傾けた。

仙台市七北田小は2015〜17年度の指定校。13年からNIE活動を全校で実践している。5年生の国語の「新聞を読み比べよう」の単元では、児童全員に当日の新聞を配り、授業を行っている。6年生は河北新報に意見文を投稿。昨年9月、3通が朝刊「声の交差点」に掲載された。

活動の成果か、昨年の全国学力テストで



七北田小の発表を聞く参加者
|| 仙台市青葉区の河北新報社

意見文投稿や平和学習

国語Aは9割、Bは5割、全国平均を上回ったという。

宮城学院中も15年度から指定校として活動。2年目から、河北新報社主催の新聞記事コンクールに全校で応募し、多数が入賞、入選した。同校は長崎への校外研修旅行の際、平和祈念像前で平和宣言を読み上げている。宣言の作成に、戦争などを扱った記事を参考にして、平和学習の柱としても活用した。

仙台城南高は16年度、新聞に親しんでもらおうとまず、NIEコーナーを2カ所設置。本年度は3カ所に増やした。自分で選んだ記事でワークシートを作る活動にも取り組んだ。生徒は新聞をめぐるのに興味を持ち、楽しんでいったという。

聖和学園高は新聞に親しむことを狙いに16年度、「つぶやきNEWS」のワークを1年生全13クラスで実施。本年度は、記事を選んで要約し感想をまとめる実践に取り組んだ。

発表を聞いた日本新聞協会NIEアドバイザーの齋藤昭雄さんは「新聞に親しませる工夫が、どの学校からも感じ取れた。NIE担当者だけでは大きな成果は得られない。学校全体で取り組みが成果も大きくなる」と話した。

発表した学校

柴田町船岡小(坂本謙)▽同町柴田小(松永秀子)▽気仙沼高(三嶋広人)▽聖和学園高(齋藤史子)▽仙台城南高(鈴木理恵)▽仙台市七北田小(今藤正彦)▽宮城学院中(丸山仁) ※発表順、○内は担当者、敬称略